

まめで健康21プラン（第2次鳩山町健康増進計画・ 鳩山町食育推進計画）の策定にあたって



21世紀のわが国において、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中、すべての人がともに支えあいながら、健やかで心豊かに生活できる社会の実現をめざして、国では「国民の健康の増進に総合的な推進を図るための基本的な方針」が新たに示され、平成25年度より「健康日本21（第2次）」がスタートしています。

鳩山町においては、平成17年に町の健康増進計画である「はとやま健康21プラン」を策定し、町民が1日でも長く健康で生きがいを持ちながら自立して暮らす、いわゆる「健康寿命」の延伸を目的に、関係機関・団体等と連携を図りながら町民一人ひとりの健康づくりを支援する体制を整えるとともに、各種事業に取り組んでまいりました。平成21年度には、プランの中間評価にあわせ、食育基本法に基づく町の食育推進計画を包括した形で後期計画を策定し、健康増進施策並びに食育推進施策を推進してまいりました。

このたび、これまでの取り組みや成果を検証するとともに、新たな健康課題に対応するため、平成27年度から平成36年度の計画である「まめで健康21プラン（第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画）」を策定いたしました。

本計画では、鳩山町の健康課題を新たな8つの分野に掲げ、それぞれに重点課題や取り組むべき内容及び具体的な目標値を設定し、健康づくりへの取り組みを推進していくこととしております。目標を達成・実現するためには、保健分野の活動にとどまらず、さまざまな分野での健康づくりの視点を取り入れた施策の推進が必要です。また、健康づくりは、町民自らが主体的に取り組む、自分に適した無理のない活動や生活習慣等を継続しながら、生きがいを持って生活していくことが大切です。

町民の皆さまには、引き続きこの計画の趣旨をご理解いただき、一人ひとりが健康づくりに向けて取り組みを実践するとともに、町民、関係機関・団体及び行政がさらに連携を深め、地域が一体となって「健康づくりのまち・鳩山」の実現に向け、健康づくりを推進していく所存でございますので、ご支援とご協力のほどお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見やご提言をいただきました町民の皆さま、各関係機関・団体の皆さま、そして計画の策定にご尽力賜りました「はとやま健康向上委員会」の皆さまに心から御礼を申し上げます。

平成27年3月

鳩山町長 小峰 孝雄